

平成18年6月14日

第10回 国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険 奨学生認証式を開催

ニッセイ同和損害保険（社長：立山 一郎）では、6月1日、築地の東京新阪急ホテルにて、第10回国際医療福祉大学・ニッセイ同和損害保険奨学生認証式を開催しました。

この奨学金制度は、旧同和火災が創業100周年記念事業の一環として、平成9年度より高齢者介護・リハビリテーションなど医療福祉・医療経営に携わる人材を育成する国際医療福祉大学（栃木県大田原市）の学生・留学生を対象に創設した制度です。この制度は、大学から推薦された学生に、返還義務のない奨学金を卒業まで給付するものであり、平成18年度は2,000万円を奨学金として寄付しました。

これまで認定された72名の奨学生は、実務研修などを通じて専門知識を習得し、卒業後は、それぞれの分野で活躍されています。平成18年度も多くの学生から応募があり、厳しい選考の結果、留学生を含む9名の方が第10期奨学生として選ばれました。

認証式には大学から高木 邦格理事長、谷 修一学長、開原 成充大学院長をはじめ5名の方が列席されました。奨学生自己紹介のあと、当社を代表して岡崎名誉会長から祝辞が述べられ、その後立山社長より奨学生に認証状が手渡されました。

平成18年3月、国際医療福祉大学からは、医療福祉のエキスパートとして大学院生を含め約1,000名が実社会に巣立っており、これからの医療福祉分野を支える人材として大いにその活躍が期待されています。

当社は、高齢化社会に対応し、介護サービスやシルバー事業における取り組みを強化してきました。今後も同大学のノウハウや奨学生を含む卒業生のネットワークを活かし、介護・シルバー事業のさらなる拡充を図ってまいります。



ニッセイ同和損害保険第10期奨学生を囲んでの記念撮影
(前列右から、開原大学院長、谷学長、高木理事長、岡崎名誉会長、立山社長、山田副社長)